

「雄志」76号

衆議院議員

谷川
はじめ



立憲民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com



国会事務所

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-2-1

衆議院第一議員会館 1208 号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

総理による恣意的な衆議院解散が認められてよいのか？

4月9日に実施された千葉県議選においては、私が応援した谷田川みつたけ（香取市・神崎町・多古町選挙区）、橋本みきひこ（成田市選挙区）、宮内ふじこ（旭市選挙区）の3名に対し、力強いご支援を賜り誠に有り難く厚く御礼を申し上げます。2ページに掲載したように結果として、谷田川みつたけのみの当選となり、応援して頂いた皆様には誠に申し訳なく、私自身の力不足をお詫び申し上げます。今回の選挙結果をよく分析し、今後の活動の方針をしつかり見直していく所存です。

さて、国会は6月21日の会期末に向け大詰めを迎えます。最大の関心は、岸田総理が広島サミット等の外交的成果を踏まえて衆議院解散に踏み切るかどうかです。前回の衆院選は、一昨年の10月31日の施行でしたので、まだ任期の折り返し地点も過ぎていません。にもかかわらず、テレビ・新聞の報道は各社とも岸田総理がいつ解散してもいいんだという雰囲気作りに加担していると言わざるを得ません。6ページに掲載したように憲法審査会で総理による衆議院の解散は制限されるべきことを強く主張しました。任期4年の間に選挙の情勢調査（世論調査）を綿密に行い、今やれば勝てるという時期に選挙を強行されたら、野党の勝ち目を見い出すことが難しいのは、よく考えれば誰でも分ることです。4年前の大坂のクロス選挙を思い起こして下さい。知事が辞職し、市長選へ。市長が

辞職して知事選に出馬しました。その理由は、現職の首長が自らの都合で辞職し、その出直し選挙に立候補した場合は、当選しても残任期間しか務めることができない法律があるからです。実は昭和26年の第2回統一地方選挙から昭和30年の第3回のそれまで、17人の知事が途中辞職し、その行為は選挙の公正性を損なうとの見解を示し、首長が自ら有利となるような選挙日程を恣意的に決めるなどを規制しているのです。

わが国の総理大臣は、すべての首長のお手本になるべき存在です。地方自治体の長には勝手に選挙をさせないようにし、自らは何らお咎めなしというのは、あまりにも不公平です。しかしながら、現在は総理の解散権を封じる確かな手立ては、何もありません。唯一できることは、世論を喚起する意外にありません。今後ともこの問題は、ことあるごとに強く主張していく所存です。とは言つても、いつ解散総選挙が行われてもいいように体制を整えて参ります」と存じます。

皆様のご理解とご協力を切にお願い申

し上げます。

令和五年五月

谷田川
はじめ

谷田川みつたけ県議が3選するも橋本・宮内候補は惜敗

4月9日投開票の千葉県議会議員選挙において、香取市・神崎町・多古町選挙区から立候補した谷田川はじめの実弟谷田川みつたけ県議が3期目の当選を果たすことができました。千葉10区内の県議は8名で、谷田川みつたけ県議以外は自民党所属です。無投票が続いていた成田選挙区から橋本みきひこさん、10区内初の女性議員を目指し、旭市選挙区からは宮内ふじこさんが立候補しましたが、残念ながら当選することができませんでした。

皆様のご支援に深く感謝申し上げます。



支援者へ当選報告をする谷田川みつたけ県議

香取市・神崎町・多古町選挙区開票結果

	所属	候補者名	合計	香取市	神崎町	多古町
当選	無現	谷田川 みつたけ	10,576	8,066	847	1,663
当選	自現	いとう 和 男	9,410	7,483	558	1,369
次点	自元	とむら 勝 幸	6,856	4,549	608	1,699

立憲民主党は県議選5議席増 投票率は過去最低

千葉県議選全体の投票率は35.99%で、前回の平成31年の選挙を0.27ポイント下回り、過去最低となりました。全国41の道府県議会議員選挙のうち、5番目に低い数字です。投票率が低くなった原因は多々あるかと思いますが、政治に対する関心を持ってもらえるように日頃の活動を工夫していきたいと存じます。



青木愛参院議員、谷田川はじめと最後のお願いをする宮内ふじこ候補



谷田川はじめと最後のお願いをする橋本みきひこ候補

旭市選挙区開票結果

	所属	候補者名	合計
当選	自現	高 橋 ひでのり	11,421
次点	立新	宮 内 ふじこ	6,573

成田市選挙区開票結果

	所属	候補者名	合計
当選	自現	小 池 まさあき	16,732
当選	無新	雨 宮 しんご	13,354
次点	無新	橋 本 みきひこ	8,149

2月20日から4月19日にかけて、谷田川はじめは委員会等で5回発言しました。その概要を以下ご報告致します。

2月20日 予算第2分科会

(総務省所管)で質問

地方創生のためにも

地域手当を見直せ!

4年前に、香取市や銚子市をはじめとする4市4町の職員の皆さんから要望を受けた。

物価の高い地域に対して基本給に上乗せする形で支給される地域手当の制度を見直して欲しいとのことだった。周辺だと成田市が15%、神栖市が12%の地域手当が認められるが、東総香取地域では地域手当が支給できないため、優秀な人材が周辺自治体に流出し、人材確保や事業運営に悪影響をもたらしているとのことだった。やはり少しでも給料が高いところで働きたいと思うのは当然だ。

月額30万円の給料だとしたら、東京23区の場合、20%上乗せされると、月額36万円。

6万円も違えば、年間にすればボーナスを考慮すると80~90万円。一生で2千万以上も違ってくる。現状はあまりにも合理性や妥当性

を欠いていると思われたので、松本総務大臣に以下のような質問をした。

○谷田川 岸田内閣として地方創生、あるいは東京一極集中の是正をするのであれば、地域手当をしっかりと見直すべきだと思うが、大臣のお考えをお聞きしたい。

○松本総務大臣 過度な東京一極集中の是正は、我が国全体にとって喫緊の課題であると認識している。地方公務員の地域手当については、現在、人事院において検討されている地域手当の見直しの動向も踏まえながら、地域のためにどのようなことができるか考えてまいりたい。

○谷田川 2年前に自民党の議員もこの地域手当の問題を取り上げ、総務省からの答弁は、「5年後の指標見直しに向けて議論します」だった。あれから2年たっているので、3年後の見直しを大臣のリーダーシップで、1年ぐらい前倒しして頂けませんか?

○松本国務大臣 地域手当について、人材確保の観点から御意見があることは承知している。令和7年4月頃の見込みで、人事院において、現在、地域手当の見直しが検討されているので、この動向も踏まえながら、地域の実情や人材確保の観点を考慮しつつ、どのようなことができるか検討したい。

○谷田川 分科員 どのようなことができるか検討したいとの答弁を頂いたが、大臣、私の

地元4市4町の首長さんにお目にかかるて実情を聞くことを約束して頂けませんか?

○松本総務大臣 どのような形でお目にかかるかどうかは、また別途御相談をさせて頂きたい。

その後、総務省に大臣が地元の首長と会う件はどうなったか問い合わせたが、大臣はこの問題を十分認識しているので、どうしても要望を伝えたいなら、担当部局で対応することだとつた。残念ながら、このことだつた。

問題がいかに深刻かが十分に理解されていないと感じる。人事院の見直しを見守ってとか、そういう悠長な状況ではない。この地域手当の問題は粘り強く取り組んで参りたい。



答弁する松本総務大臣



質問する谷田川はじめ

3月10日 国土交通委員会で質問

**全国の鉄道ネットワークは
維持すべき！**

これに対して、齊藤大臣は3Kは重要なキーワードだと応じ、特に貨物鉄道輸送は、CO₂排出量がトラックに比べて10分の1以下であることを持摘。JR各社に路線の適切な維持を求めていく考えを示しました。

まず、齊藤大臣に基本認識を聞きました。「国鉄の分割民営化は、全国の鉄道ネットワークができるだけ維持するとの前提で行われたと思うがどうか？」

これに対し、大臣からは「JR各社に対して、可能な限り路線の維持に努めるよう指導してきた。しかし、危機的状況にあるローカル線区について、事業者と自治体の連携により、地域公共交通の機能回復を促したい。そのための新たな制度改正を提案したい。」との答弁がありました。



答弁する齊藤国交大臣



質問する谷田川はじめ

建設キャリアアップシステムは、当初適正な評価と待遇の改善を目指すことにありましたが、地方で働いている優秀な人材が、東京の大手企業に引き抜かれるケースがあるので対策を求めました。

この谷田川の質問に対して、石井副大臣は、技能者の悪質な引き抜きを防止するためシステムを改修してきたことを説明。さらに、新3K、すなわち給料がよく、休暇が取れて、希望がもてる建設業にしたいと抱負を述べました。



答弁する石井副大臣

**地方の建設人材を奪うな！
建設キャリアアップ
システムの見直しを！**

4月10日 決算行政 監視委員会で質問

コロナワクチン大量廃棄について追及

が、一般的ではないと答弁しました。

平成21年の民主党政権時代、新型インフルエンザのワクチンの調達で、大量にキャンセルや廃棄をした事例がありました。当時の長妻厚労大臣は、情報開示に努め、どのくらいの損失だったのかを公表しています。結果

的にワクチンの単価も計算できました。厚労省は対外的な交渉能力を磨くことも大事だし、ワクチン製造企業とのキャンセル料や損失額を早急に公表すべきと強く主張しました。

まず取り上げたのは、昨年4月から谷田川はじめが指摘している2兆4千億円の予備費で、8億8千2百万回分の新型コロナワクチンを購入した問題。12月の参院予算委員会では、加藤厚労大臣が大量廃棄の可能性を示唆しました。3月には、会計検査院より、ワクチン接種事業について不適切な部分があるとの報告書も出されました。



答弁する加藤厚労大臣（左上）、
鈴木財務臣（右上）、
長岡文科大臣（右下）

コロナワクチンの購入は、政府が直接買い入れせず、一般社団法人を介し、1億8千万円の事務費を支出しています。厚労省が直接支払えば、必要なかった経費です。鈴木財務大臣は、当時薬事承認前のワクチンを政府が購入することは違法ではない

2年前に萩生田文科大臣（当時）に要求した全国一斉休校の検証について質問しました。永岡大臣は、感染の流行を早期に収束させるために行つたが、児童生徒の重症割合が低いこと、効果的な対策のノウハウも積み重ねられ、学校の役割が学習機会の保障、子供たちの居場所やセーフティネットとして福祉的な役割も担うこと、休校が保護者等への影響が極めて大きいことから、全国一斉の臨時休校は慎重にするべきと答弁しました。

全国一斉休校の検証は？



厳しく追及する谷田川はじめ

4月13日

衆議院憲法審査会で発言

恣意的な衆議院解散の規制を



発言する谷田川はじめ

「緊急事態であつても、国会の機能を維持しなければならない。そのためにも議員の任期延長が必要だ」という意見がありますが、国会機能を不全にする時の政権による恣意的な衆議院解散について、先に議論するのが筋ではないでしょうか？

令和5年度予算が成立して、岸田総理が公明党に挨拶した時に、山口代表が「解散ではありませんね」と発言し、岸田総理を牽制したとの報道がありました。山口代表も「解散は総理の専権事項」と何度も発言されましたが、今後は、避けた方がよいと思います。

残念ながら直近3回の解散は、今やれば勝てる。1週間でも早く選挙やった方が有利だとの党利党略以外の何物でもありません。

民主主義の土台である選挙の公正性を確保するという観点からも、総理の解散権の濫用を防止する立法措置を検討するべきです。仮に法律の射程範囲を超えるならば、憲法改正も視野に入れるべきです。緊急事態よりも通常事態における恣意的な解散権行使の抑止を先に議論すべきだ、と強く主張します。

総理の専権事項ではないことを示す実例を一つ紹介します。戦後行われた26回の衆院総選挙で唯一任期満了選挙となつたのは、76年の12月のことです。その3ヶ月前の段階で、三木武夫総理は解散を行なうための閣議を開きましたが、実際に15名の閣僚が反対をし、解散を断念せざるを得ませんでした。反対する閣僚15名を罷免

あります。すなわち、専権事項というのは、総理大臣が勝手に決めて、決めた以上は従わなければならないということです。

まして、現在の岸田内閣は自公連立政権です。連立与党である公明党の意向を無視し、岸田総理が解散を強行すれば、公明党の閣僚を罷免せざるを得なくなり、「解散は総理の専権事項」という言葉は、現状ではあります。

し、三木総理自身が15名の閣僚を兼務し、解散する手段はありましたが、三木元総理は、「自分は議会人として、それはできなかつた。」と後に語っています。

4月19日

国土交通委員会

**浸水に備えて建設機械を
高台にプールすべき**

3月10日の質疑で谷田川が南海トラフ地震のよう津波による広域的な浸水が想定されている場合、復旧作業に必要な建設機械を予め高台にプールする必要性があるのではないかと質問。その答弁が不適切ではないかと指摘したところ、齊藤大臣から「ご提案に対して、きちんと答えていないということについては、不誠実と受け取られかねない答弁であり、申し訳なく思つております。」との謝罪の言葉がありました。

その上で、建設機械を高台等浸水想定区域外に保管しておくことは大変重要であり、実態把握を早急に行い、保管場所のあり方について、業界団体と意見交換を行つ



質問する谷田川はじめ



答弁する齊藤国交大臣

て、この議論を前に進めたいと積極的な答弁がありました。

**ホームドア設置をJRに
要請すべき!**

3月18日にJR東日本は鉄道駅バリアフリー料金として、乗車料金を10円値上げしたにもかかわらず、同日に、千葉県内の駅として25年振りに開業した「幕張豊砂駅」には、ホームドアがありません。JRの対応に問題があるので？と谷田川が質問。

齊藤大臣は、せっかく新駅を造るのでから、ホームドアも最初からつければ、はるかに安いコストでできるので、ホームドアの設置義務がない場合であつても設置を検討するよう鉄道事業者に働きかけていきたいと応じました。

谷田川はじめの質問の模様を
動画にて、こちらのQRコード
からご覧いただけます。





はじめの活動写真



2月24日 わが党所属の国会議員で、ひたちなか海浜鉄道等を視察。右は、茨城交通BRTの自動運転バスの運転手がハンドルから手を離している様子。

3月12日 震災から12年。千葉県で最も被害を受けた旭市飯岡地区で、ビーチクリーンに参加後、献花。地元国会議員として一層の復興に務めることを誓いました。



3月12日 作曲家の弦哲也さん(右下)の銚子市名誉市民顕彰式と市制施行90周年記念表彰式に出席し挨拶。

4月8日 成田駅にて、右から辻元清美参院議員、油田清、大和よしみ両市議候補、橋本みきひこ県議候補と街頭演説。

4月23日 香取市の橋ふれあい公園グランドオープン式典にて、谷田川みつたけ県議とともにテープカット。

ポスター掲示等ご協力のお願い



左記のポスターを是非とも、ご自宅の壁や塀に貼らせていただきたく、お願い申し上げます。

なお、ご協力いただける方は、谷田川はじめ事務所まで連絡をお願いします。
☎0478-52-5678

谷田川はじめプロフィール

1963年1月17日香取市佐原生まれ
千葉県立佐原高校、早稲田大学政治経済学部卒業
松下政経塾出身(在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフを経験)
千葉県議会議員4期
衆議院議員3期
現在 國土交通委員会、決算行政監視委員会、憲法審査会に所属
立憲民主党千葉県連選対委員長、千葉県ハンドボール協会会長

●後援会ニュース「雄志」定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。 あなたのご意見を反映します。

年会費一口2,000円 (何口でも可)

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

冠婚葬祭等の情報がありましたら、
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが伺います。

千葉県第10区在住のお知り合いの方をご紹介ください。



ご連絡お待ちしています

TEL 0478-54-5678
FAX 0478-52-6991